

のき 併ご 合う

都市計画「直ちに線引き」を決定 合併期日の延期が提案される

18回合併問題特別委員会 7/7

6月30日合志町で開かれた第11回南部四町合併協議会の結果報告と富永会長から提案された合併期日の延長を協議

した。

継続協議であった都市計画の区域区分（市街化区域と市街化調整区域の線引き）に関

する協議では、大津町は原案を主張した。採決の結果、賛成多数で菊陽町の修正案に決定した。

議員辞職勧告を決議

平成16年5月7日第4回大津町議会臨時会において、志賀敏男議員の議員辞職勧告決議案が提出され、議会は賛成多数で可決した。

「志賀敏男議員の辞職勧告に関する決議」

熊本区検察庁は、志賀敏男

議員が経営する会社が、他社の社員を同町内の工場へ不法にあっせんしたとして、職業安定法違反（労働者供給事業の禁止）と労働基準法違反（中間搾取の排除）の罪で、志賀敏男議員と同社専務及び同社を、熊本簡易裁判所に略式訴訟し、それぞれに罰金30万円を命じました。

新聞報道によると、志賀議員は、法律の理解が足りず、

このような事態を起こして反省している。罰金は近日中に納める、となっています。

今回の事件は、町民に対する議会の信用の失墜であり、町民の怒りと失望は、はかりしれません。

大津町議会としても、一刻も早く町民の皆様の信頼を回復するため、職業安定法違反と労働基準法違反の罪で、略式起訴された志賀敏男議員に対して議員の辞職を勧告する。以上決議する。

平成16年5月7日

熊本県菊池郡大津町議会

決定された修正案

「都市計画区域については、現行のまま新市に引き継ぐ。ただし、菊陽町、合志町、西合志町は熊本都市計画区域で区域区分（線引き）があるが、大津町は大津都市計画区域で区域区分がないので、合併後、直ちに区域区分を行い、新市として一体的な発展を図るものとする。また、新市独自の都市計画区域の指定を視野に関係機関との調整を行う。」

※注 大津町は合併後、直ちに市街化区域と市街化調整区域の線引きをするということ

いま一つの継続協議であった新市の事務所の位置については各町意見がまとまらず再度継続協議となった。

合併期日の延期を提案

法定協 富永会長の提案

「合併の期日は平成17年2月28日と第6回協議会で確認されておりありますが、この決定は法律の改正以前であり、合併期日を延長しても特例法の恩恵を受けられませんので、期日を再検討してほしいと思います。この協議会は協議の期間が短く、事務・事業の調整、電算システムの検討等には支障をきたしています。住民に有利な合併をするため、合併期日の延長をすべきではありませんか。各町とも持ち帰り、協議してください。」

大津町議会は延期に反対

19回合併問題特別委員会7/16 合併協議会で提案された合併の期日延期について7月16日、委員会審議を行い、議会は反対することにした。

大村町長は「平成17年2月28日の合併を前提として住民投票が実施されている」と発言があり、議員から「延期をつきつけられたら受けてたつべきだろうが富永会長の突然の提案には納得できない」などの意見が出され、採決の結果、期日延期反対が多数となり、大津町議会は、合併の期日延期に反対することに決定した。（合併が延期されると大津町は、来年二月町議選挙となる）

合併の賛否を問う 住民投票の結果

菊陽町、合志町、西合志町との四町による合併の賛否を問う住民投票が5月23日行われ、開票の結果、賛成票が過半数を占めた。

この住民投票は3月議会で成立した住民投票条例に基づいて実施されたものである。

合併賛成
6345票

合併反対
5985票



4町合併について議論する町特別委員会